

麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

75

平成30年
4月10日発行

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

新年度を迎えて

今年は厳しい寒波の到来やインフルエンザが猛威を振るう例年にはない冬のためか、暖かな春の訪れを待ち遠しく感じておりましたが、卯月を迎えて、春の風を感じることが出来る季節になりました。また、いよいよプロ野球も開幕し、広島東洋カープにはリーグ3連覇、そして今年こそ悲願の日本一を成し遂げて欲しいものです。

さて、平成30年4月、当院におきましても新たに33名の職員を迎えることが出来ました。希望に満ち溢れた新たなスタッフを迎えることは大変嬉しく、私が院長に就任して初めての新年度でもあり、身が引き締まる思いです。

今年度は診療報酬改定においても医療と介護の同時改定が行われる6年に一度の重要な年度です。いわゆる団塊の世代が75歳以上になる2025年以降を見据え、地域包括ケアシステムや安全で質の高い効率的な医療体制の構築を目指した改定であると同時に、今後の地域医療構想の具現化を促進する改定になるものと理解しております。

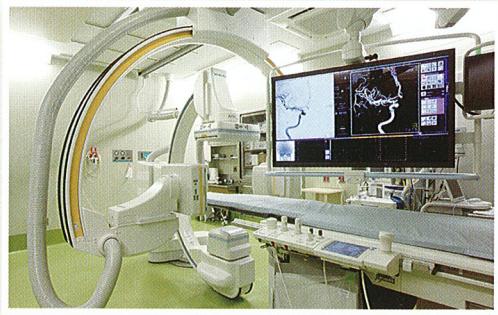
一方、どのような改定があろうとも、当院は脳卒中をはじめとする脳血管疾患の専門病院として、質の高い安全な医療を提供し地域に貢献することに変化はありません。

昨年9月に本邦の脳卒中治療ガイドラインでグレードAとされる（強く推奨）治療として、超急性期脳梗塞に対するカテーテルを用いた脳血管内手術である「脳血栓回収術」が記載されました。当院では来院から60分以内に迅速に治療開始できる体制を整え、昨年は年間40例を超える実績があります。この症例数は市内でもトップクラスに位置しているものと思われます。この手術を迅速に行える診療体制を整えていることは当院の誇るべきことであり、今後もさらに発展させていきたいと考えております。

今年度は新院長として、ますます地域の皆さまから必要とされ信頼される病院として、また医師や看護師、コメディカル等スタッフが働き甲斐のある魅力ある病院（マグネットホスピタル）づくりに邁進したいと考えております。

皆さまから信頼していただけるよう全力で取り組んで参りますので、ご支援、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

院長 荒木 勇人



もくじ

- 1 新年度を迎えて
- 2 脳血管内手術件数の推移について
- 3 診療放射線部門の紹介 / 臨床検査・輸血部門の紹介
- 4 第35回日本カーリング選手権大会に参加して
管理栄養士のおすすめメニュー
- 5 連携医療機関のご紹介 —— ふないり脳クリニック ——



脳血管内手術件数の推移について

平成29年脳神経外科領域における手術総数は261例で、その内もっとも多い症例は脳血管障害に関する手術で115例、次が外傷手術で105例の実績となっています。（図1参照）

脳血管障害のうち脳血管内手術は、一般的な開頭術による外科手術に比べ、患者さんに加わる侵襲が極端に少ないこと、開頭手術での治療が困難な脳の中心部分でも、周辺の脳への影響を与えずに到達が可能であること、総じて入院期間が短いことなどです。また全身麻酔で行われることも多いですが、局所麻酔でも可能であり、麻酔をかける事が危険な高齢者や、心臓や肺の悪い人などには非常に有用な手術方法となります

そこで、平成25年から平成29年までの5年間の脳血管内手術件数の推移をまとめてみました。（図2参照）過去の脳血管内手術は、くも膜下出血や未破裂動脈瘤に対する脳動脈瘤コイル塞栓術が主でしたが、手術に使われるカテーテル、コイルなどの道具は近年めざましい進化を遂げており、対象疾患が拡大してきました。

また、脳主幹動脈急性閉塞に対する治療において、発症から4.5時間以内の急性期脳梗塞に対するt-PA静注療法は、現在標準的な治療として広く行われていますが、本治療は再開通率が低いこと（およそ30-40%）や適応時間が短いことが問題であり、その適応患者も限られています。そこでt-PA静注療法によって症状の改善が認められない場合や治療の適応外の症例に対して、脳血栓回収術が行われるようになり、平成29年は40例にまで増加し、脳血管内手術症例の全体の40%を占めるまでとなっています。

一方で、脳主幹動脈急性閉塞に対する手術にも条件があります。できるだけ早期に治療を行うことで重篤な後遺症にならずにすむ場合もあるので、脳梗塞の症状（片側の麻痺、呂律困難、視野の異常）が出現した場合には、速やかに救急車を呼ぶ、医療機関を受診することの重要性を理解していくなど、疾患に関する啓蒙活動も引き続き積極的に取り組んでいきたいと考えております。

診療部門長 渋川 正顕

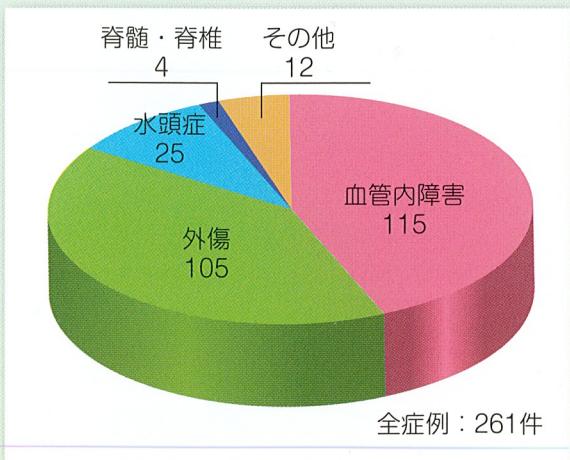


図1：平成29年脳神経外科手術実施件数

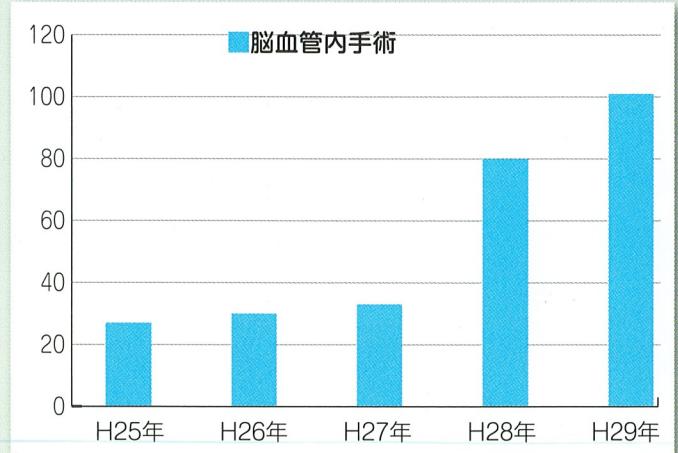


図2：過去5年間の脳血管内手術実施件数の推移

診療放射線部門の紹介

診療放射線部門は、現在12名の診療放射線技師（男性10名、女性2名）と1名の事務職員で構成されています。

超急性期の脳卒中医療を担う当院において我々診療放射線技師の使命は、画像医療機器を使い診断価値の高い良質な画像を迅速で正確に医師へ提供することにあります。早期診断、早期治療を実現させるべく夜間においても積極的に脳卒中の患者を受け入れ、画像診断の要として24時間365日常に救急医療の最前線で奮闘しています。

また院内多職種と連携しながら、医療安全管理や、感染防止対策などチーム医療の一員として高機能で質の高い医療にも取り組んでいます。

診療放射線部門 安部 昌弘



診療放射線部門スタッフ



GE社製3.0T超電導MRI装置

臨床検査・輸血部門の紹介

臨床検査・輸血部門は臨床検査科責任医師1名、臨床検査技師5名で構成されています。検査技師の業務内容は大きく分けて身体から採取した試料を検査する検体検査と身体機能を体外から検査する生理機能検査があります。検体検査には採血業務を始め、血液検査、尿検査、輸血関連検査、その他の検査（インフルエンザウイルスやノロウイルス、超急性期の心筋梗塞などを調べる検査）があります。生理機能検査には心電図検査、超音波検査、脳波検査、内視鏡検査などを行っています。また、臨床検査科の理念でもある迅速で正確な検査結果の提供、検査技術の向上にも努めています。

さらに、夜間休日を含め、365日24時間オンコール体制で緊急検査に対応しています。

技師1人1人が、「検体のうしろに患者さんあり、患者さんに心あり」を念頭に、安心して検査・治療を受けていただけるよう心がけています。そして、検査室なくしては成り立たないと言われる存在になるよう、これからも切磋琢磨していきたいと思います。

臨床検査・輸血部門 児玉 侑子



臨床検査・輸血部門スタッフ



男性スタッフも頑張っています

第35回日本カーリング選手権大会に参加して

平成30年1月28日～2月4日北海道で開催された第35回日本カーリング選手権大会に西日本ブロック代表の「チーム広島」として参加してきました。カーリングは大学時代に北海道で始め、就職後も続けており、目標のひとつであった大会に出場できとても嬉しく思います。今回はオリンピック日本代表チームの参加はありませんでしたが、国内のトップチームと試合をすることができ、とても良い経験になりました。結果は1勝7敗でしたが、練習環境に恵まれないチーム広島にとっては大きな1勝になったと思っています。また、大会参加にあたり、壮行会の開催など、病院の皆様の後押しにも大変感謝しております。今後も、仕事と同様カーリングも頑張っていきたいと思います。

リハビリテーション部 作業療法士 財官 里帆



チーム広島（本人向かって右端）



財官選手



試合風景

管理栄養士のおすすめメニュー

今が旬！カツオのたたき

春に旬を迎える魚は、冬の時期に不足しやすいビタミンやミネラルなどの栄養素をとることができます。

春を旬に迎える魚介ベスト5

- ① カツオ ② いかなご ③ あさり ④ サワラ ⑤ タイ

カツオに含まれる主な栄養素

- ビタミンB12 ●ビタミンD ●ビタミンB6 ●タウリン ●EPA



カツオのたたき

カツオ(刺身用)	1柵(300g程度)	たれ	
ニンニク	2かけ	ポン酢	50cc
しょうが	1かけ	ごま油	大さじ1/2杯
大葉	6枚		
玉葱	1/2玉		

にんにく、ねぎ、玉ねぎはカツオと一緒に食べることでビタミンB1の吸収を助け、疲労回復に働きかけます。昔に比べて、日本人は魚を食べなくなったといいます。魚の良質なたんぱく質は必須アミノ酸を豊富に含み、体の細胞をつくる基になります。旬のカツオを使って一度お試しください。

食養部 管理栄養士 池永 知子



食養部スタッフ



連携医療機関のご紹介



ふないり脳クリニック

住 所：〒730-0844 広島市中区舟入幸町4-2クリニックモール舟入2F

T E L : 082-503-2710

F A X : 082-503-2711

診療科目：脳神経外科・精神科

院長名：村上 太郎

病院URL：<http://www.funairi-nou.com>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	-
14:30~18:00	●	●	-	●	●	-	-



院長 村上 太郎先生

平成28年9月に広島市中区の舟入のクリニックビル（クリニックモール舟入）の2Fに開院した脳神経外科クリニックです。おかげさまで無事一年が過ぎ、二年目を迎えることが出来ました。

クリニックモール舟入について

当クリニック（2F）が入っているクリニックモール舟入では、3Fにひらお循環器消化器クリニック（内科・循環器科・消化器科）、4Fに小児科があります。お互いに連係を取りつつ、地域に根差したかかりつけ医としてお役に立てるよう心掛けております。

ふないり脳クリニック の特徴

勤務医時代は、脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍など急性期治療を中心として全力で患者様に尽くしてきましたが、大病院ならではの苦悩もありました。大病院では全ての科がMRI検査依頼するため、外来レベルではすぐにMRI検査ができず、患者様に数週間から下手をすれば2ヶ月も先に予約を待つこともあります。また、大病院では各科とも高度に専門分野が細分化されており、頭痛・めまい・しびれなどは複数の科にまたがる症状なため、病院内ではどこに行っても確実な診断は得られず、院内たらい回し状態になり患者様にご迷惑をおかけすることも多々ありました。

「ふないり脳クリニック」では、少しでもそれらの解消につながり、患者様のご希望に添える医療が提供できればと思います。脳卒中発症の危険因子である高血圧などの生活習慣病や、頭痛・めまい・風邪といった日常的な疾患など一般的な治療を行うべく、地域の皆様がお気軽に安心して来院頂ける地域に密着したクリニックを目指しております。なおかつ個人クリニックでは県内初の3T-MRIを導入し、より身近に高度な検査を受けて頂ける環境を備えており、荒木脳神経外科病院への架け橋になるように心がけております。

また、認知症専門医による認知症・もの忘れ外来も行っており、認知症でお困りの患者様ならびにご家族様に気軽に声をかけて頂ければと思っています。

荒木脳神経外科病院への思い

荒木脳神経外科病院は、私が研修医の頃でもすでに西区の救急医療の砦として、急性期に特化した病院であり、どんなに受け入れが厳しい状況でも快く急患を受けて頂き、大変お世話になりました。これは今でもそうであり、偉大な歴史を持った大変心強い病院です。入院機能のないクリニックとしては、本当に大変感謝しております。私は沖修一名誉院長をはじめ、今まで荒木脳神経外科病院の多くの信頼できる先生方からのご指導を頂きましたが、私の掛け替えのない財産となっております。今後も荒木脳神経外科病院への橋渡しとなるよう地域のため、引き続き頑張りますので何卒宜しくお願い申し上げます。



医療法人光臨会 理念

- 皆様に安心していただける、全人的な医療と介護を目指します

荒木脳神経外科病院 理念

- 脳神経外科としての専門性を軸に、幅広い診療体制で地域医療に貢献します
- 急性期医療の中核病院として、高機能で質の高いチーム医療を行います

運営方針

- 「医療の原点は救急である」
- 快適な療養環境と接遇の提供
- チーム医療の推進と相互啓発
- 「医療と福祉の複合化」の推進

患者様の権利

- 医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います
- 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
 - 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
 - 医療に関して知る権利を尊重します
 - 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
 - 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します
 - 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します
 - 苦情を申し立てる権利を尊重します

患者様の義務

- 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります
- 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。



外来担当医表

平成29年10月1日～

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初診(1診)	渋川	中原	沖	江本	荒木(勇)	広大
		初再診(2診)	荒木(勇)	谷	江本	沖	渋川	谷
	午後	初再診(3診)	沖	太田	加納		加納	
				加納 (1・3・5週) 沖 (2・4週)	広大	加納	沖	広大 江本

脳神経内科	午前	初再診(3診)			青木		
-------	----	---------	--	--	----	--	--

総合診療 (内科・外科)	午前	初再診(4診)	野村	浅本	藤井	浅本	藤井	野村
	午後	初再診(4診)	藤井	浅本	野村	浅本	野村	野村
	午前	検査		浅本		野村 浅本		
	午後	検査		浅本	野村	浅本		

脳神経外科 消化器内科	午前	初再診(5診)		荒木理事長			井上
----------------	----	---------	--	-------	--	--	----

診察時間

◆完全予約制

午前 9時～12時

(初診受付：午前 11時30分迄)

午後 3時～6時

(初診受付：午後 5時30分迄)

救急は 24 時間受付けております

※井上名誉教授
第1土曜日 月1回

医療法人光臨会



荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス http://www.arakihp.jp

荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

デイサービス あらき

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6100

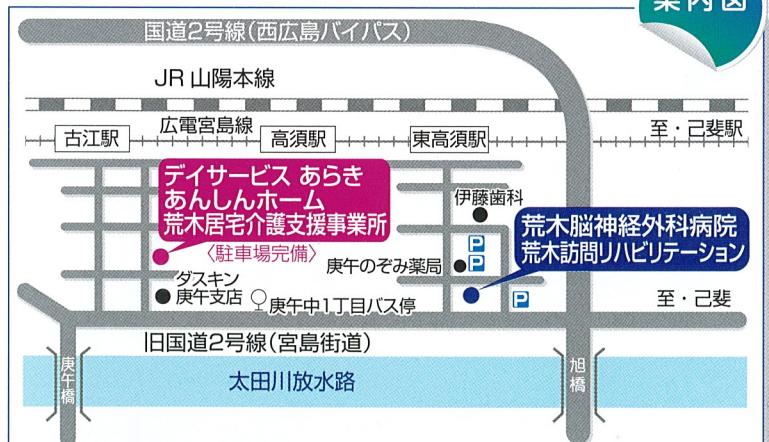
あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6600

荒木居宅介護支援事業所

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6300

案内図



交通案内

○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)

○広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分

○広島バス25号線／「庚午北2丁目」バス停前



新年度となり新入職員を迎えることができました。
気持ちを新たに地域医療に貢献して参ります。